



まちのできごと

6/30 雄武漁協ホタテ貝無料配布 磯の香りに包まれて

町民への日頃の感謝を込めて雄武漁業協同組合主催のホタテ貝の無料配布が今年も実施されました。配布されたのは1世帯あたり約4kgのホタテ貝。この日を待ちかねていたように、袋いっぱいのホタテ貝を受け取った町民からは、「せっかくの新鮮なホタテなので、今晚家族みんなで食べたいと思います」と笑顔で話していました。



↑ホタテ貝を受け取る町民

↓保護者と協力してゴールを目指す園児



7/1 若草保育所運動会 ゴール目指して一生懸命

若草保育所で0歳児から5歳児までの園児たちが参加する運動会が開催されました。はじめに全員でラジオ体操を行い、その後、クラスごとに分かれて競技を行いました。その中でも「大物魚とり」と題した親子競技は、大きな丸い網を使って魚を運ぶリレーで、園児は保護者と一緒に行ってゴールを目指しました。その愛らしい姿に、会場で見守る保護者や地域の人たちも思わずにっこり。他にもお神輿を担いで披露する姿に、たくさんの掛け声と拍手が送られました。

↓トレーニング方法を教わる受講生



6/20ほか トレーニング講習会 ケガに強い身体づくり

6月20日、7月1日、21日の3回にわたり、トレーニング講習会が行われました。講師には、オリンピックで日本代表選手のトレーナーも務めたことのある竹花氏と長谷部氏をお招きしました。

講習会では、スポーツをしている人だけでなく、スポーツ指導者や、スポーツをする子どものいる保護者が参加し、テーピングの使用方法や簡単なマッサージ、ストレッチの仕方について説明が行われました。

↓神輿を勢いよく上下にあおる担ぎ手たち



7/16~17 幌内神社祭典 みこし 神輿、練り歩く

幌内神社祭典が今年も2日間にわたり開催されました。

沿道で見物人が見守る中、地域の男衆が勢いよく神輿を担いで練り歩きました。休憩所となる各事業所などでは、担ぎ手を労い海の幸などが振る舞われました。

神輿渡御の途中では餅まきが行われ、縁起物の餅を貰うためにたくさんの人々が集まりました。毎年参加している人は「神輿を見ていると、夏が来たのを感じますね」と話していました。

7/10 オホーツク管内町内会自治会連絡協議会 管内の自治会が集う

オホーツク管内町内会自治会連絡協議会の総会・研修会・交流会がホテル日の出岬で開催されました。管内の自治会、町内会の役員が集まり、今後の自治会等活動の方針の決定や他地域の自治会などと情報交換を行いました。続けて健康に関する研修会が行われ、その後開催された交流会では、ホテル日の出岬の料理が提供されました。特に町外の参加者からは「とても美味しい」と大好評でした。



↑総会の議題を話し合う様子

7/7~8 オホーツクサイクリング オホーツクを駆け抜ける

雄武町から斜里町までの212kmを自転車で走り抜ける「第37回インターナショナルオホーツクサイクリング2018」が開催されました。国内外から男性408人、女性95人がエントリーし、海外は中国から12人のエントリーがありました。当日は気温が低く肌寒い風が吹いていたものの、参加者は寒さをものともせず、オホーツクの雄大な自然をバックにさっそうと駆け抜けていきました。



↑日の出岬へ向けて軽快に走るサイクリスト

↓高橋副町長へメッセージを伝達する石山保護司(右)



7/3 社会を明るくする運動 再出発を見守る社会へ

社会を明るくする運動に関する総理大臣メッセージの伝達式が、役場庁舎で行われました。同運動は、犯罪や非行の防止と更生について理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動であり、今年で68回目を迎えます。

伝達式では、紋別地区保護司会雄武支部の石山保護司がメッセージを読み上げ、高橋副町長へ伝達されました。